

# 2020年3月期 決算説明資料

2020年6月16日  
三光産業株式会社  
(証券コード:7922)

---

# Contents

- 01 決算概況
- 02 今後の事業展開
- 03 中期経営計画

01

# 決算概況

## 2020年3月期決算ハイライト

- ✓ 中国深圳工場クローズ
- ✓ トムズ・クリエイティブを子会社化
- ✓ コスト削減による利益計画目標達成

# FY2019決算概況

(単位:百万円)

P/L	FY2019	FY2018	前期比
売上高	10,624	11,196	94%
売上高利益	1,826	1,840	99%
販管費	1,851	2,022	91%
営業利益	▲24	▲182	186%
営業利益率	▲0.2%	▲1.6%	186%
経常利益	▲8	▲115	193%
特別利益	19	0	
特別損失	396	106	△373%
税金等調整前当期純利益	▲386	▲220	24%
当期純利益	▲393	▲238	34%

- ✓ 営業利益up理由: 販管費の削減
- ✓ 特損理由: 中国深圳工場閉鎖他

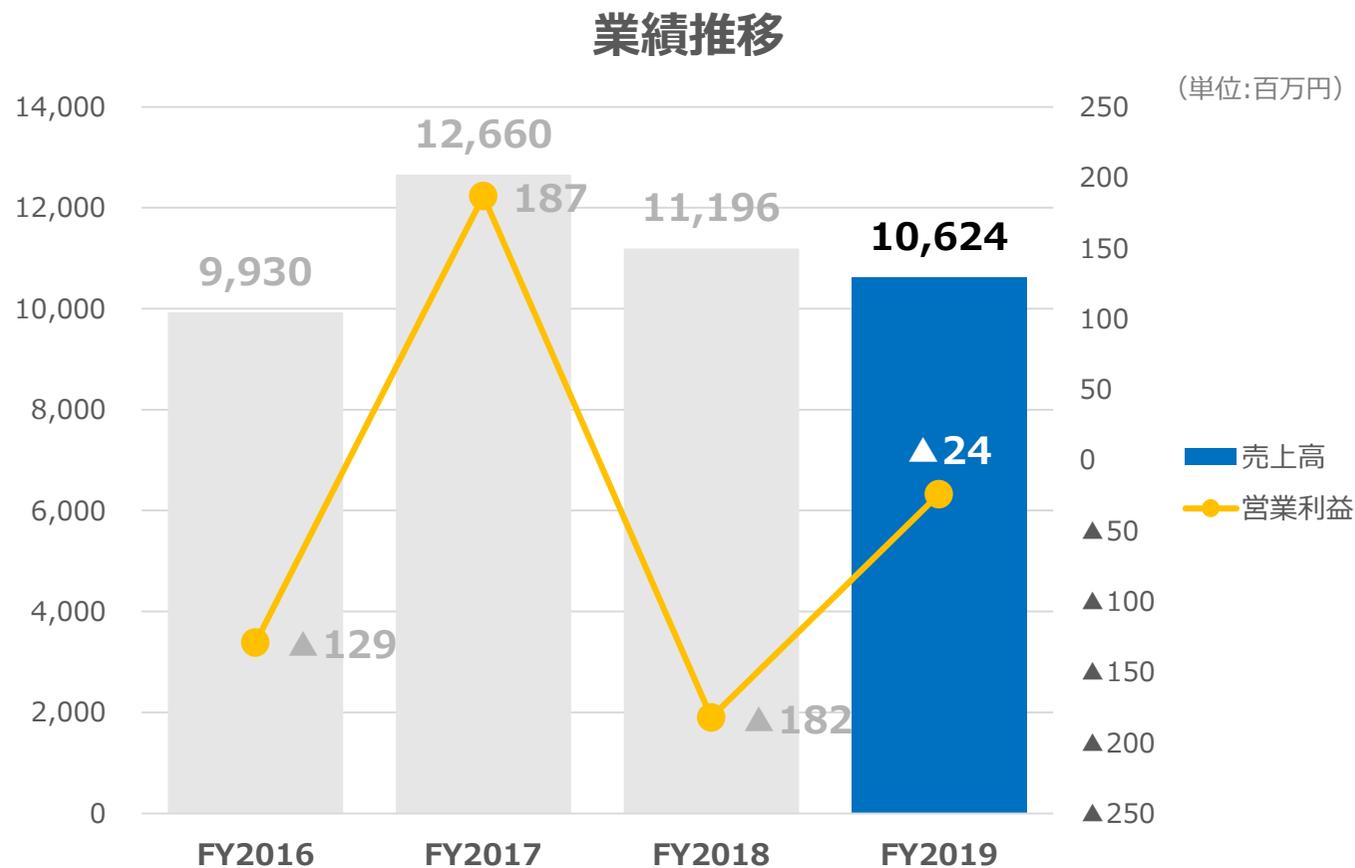
# FY2019決算概況

(単位:百万円)

B/S	20年3月期	19年3月期	前期比
流動資産	7,517	7,363	102%
現預金	2,447	2,465	99%
固定資産	3,759	3,721	101%
総資産	11,277	11,084	93%
流動負債	2,907	2,440	115%
固定負債	577	305	222%
純資産	7,791	8,339	101%

✓ 固定負債の増加:手元資金を確保しておくことにより  
経営と雇用の安定化に備えるため借入を実施

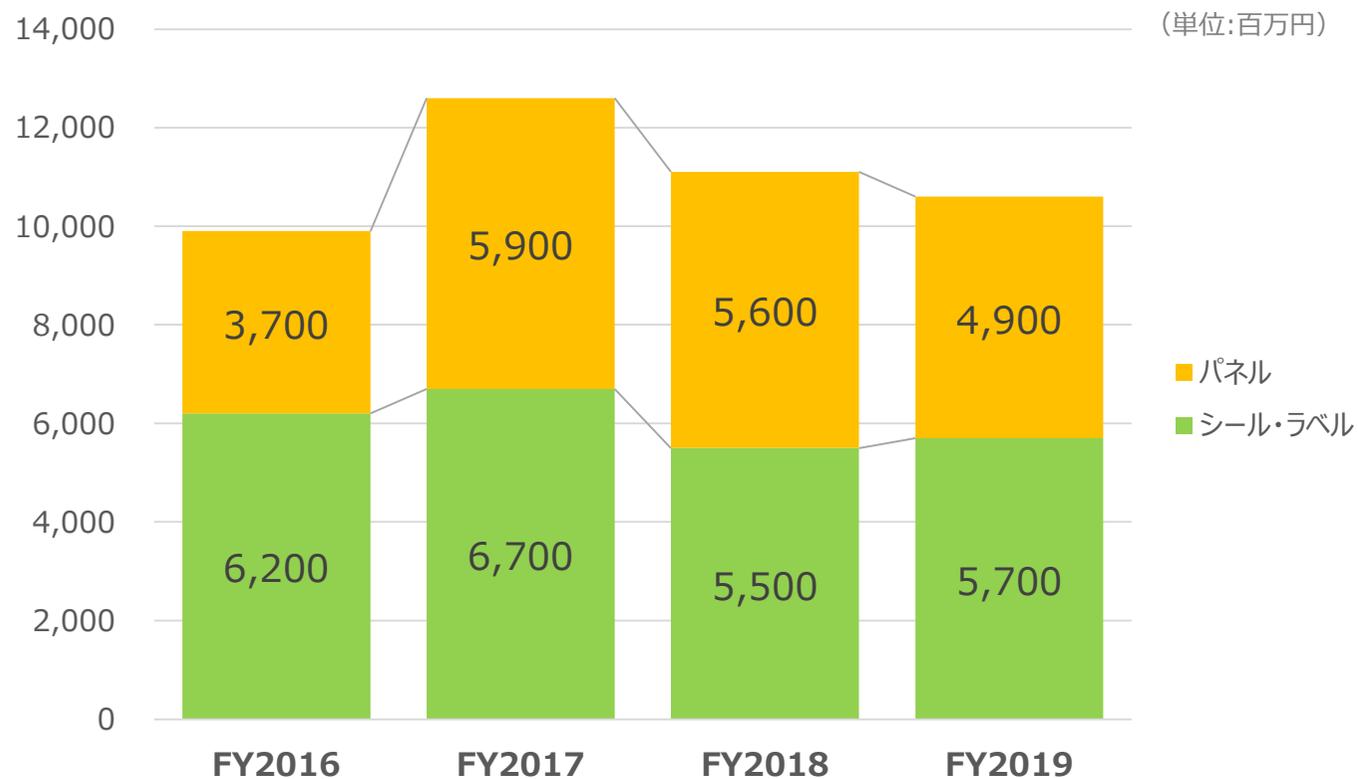
# FY2019決算概況



✓ 減収 (前期比94%)となったが、営業利益ベースでは計画達成

# FY2019決算概況

## カテゴリー別

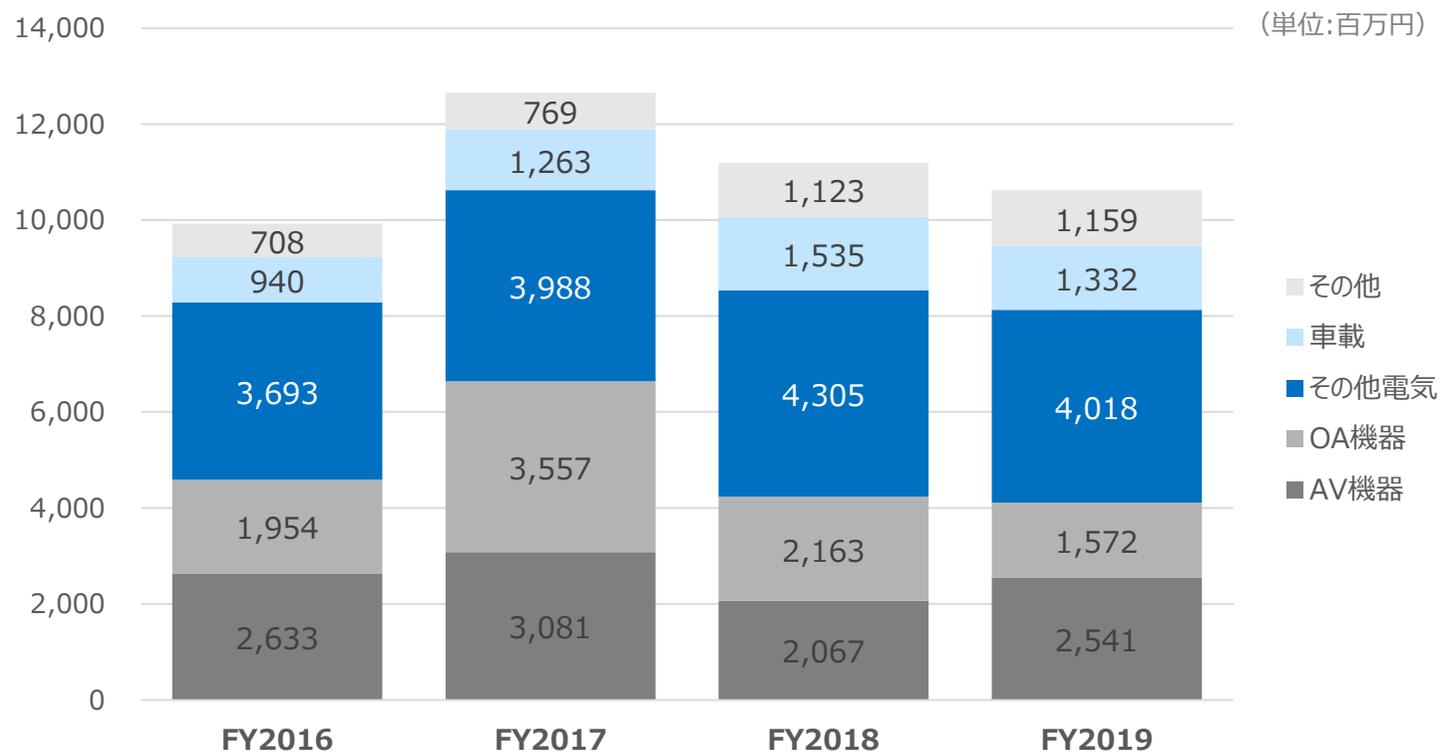


✓パネル売上計画通り

✓シール・ラベル売上4%増も計画未達

# FY2019決算概況

## 売上構成



その他電気には下記が含まれます。

- ・産業関連
- ・スマートフォン関連
- ・医療関連

# FY2019決算概況

## セグメント別収益

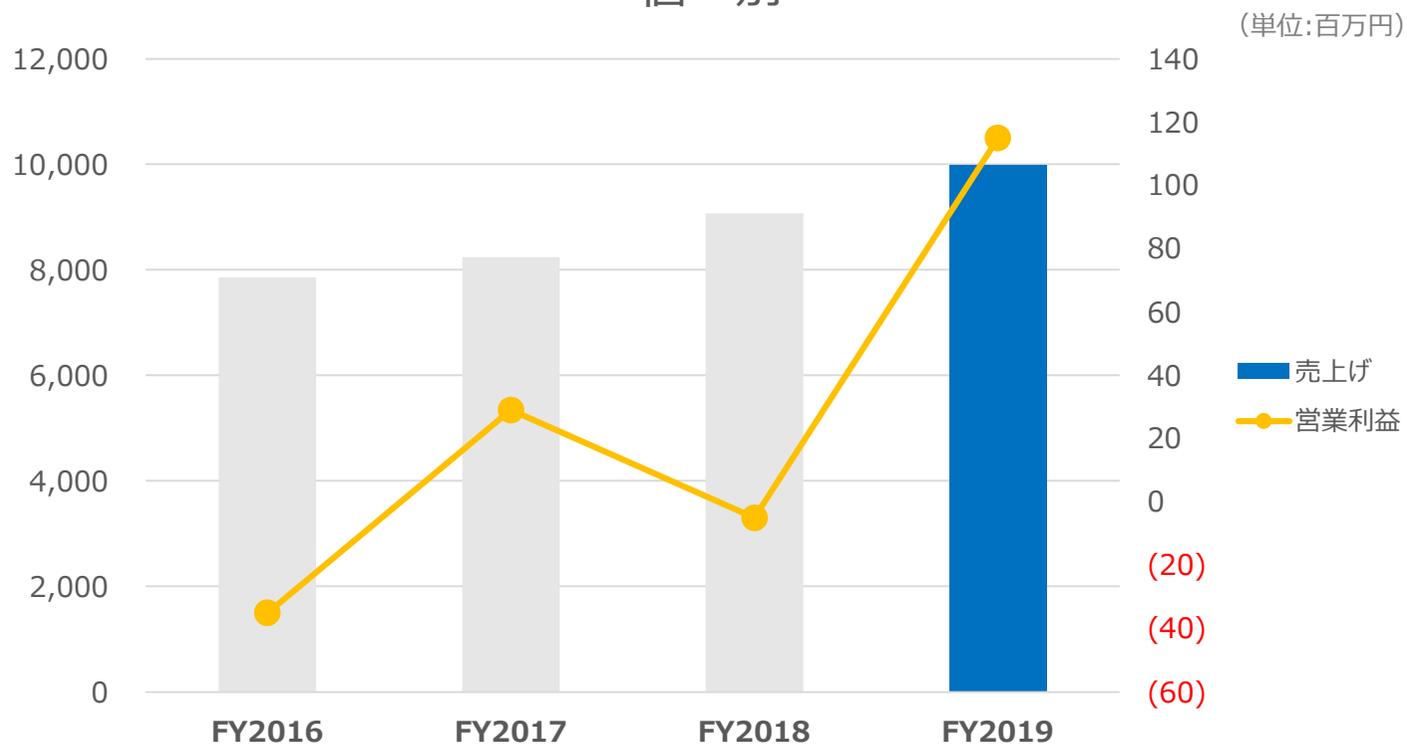
日本	売上高	: 8,500百万	前期比	97%
	セグメント利益	: 69百万	前期比	71百万増益
	✓ 車載関連を中心に減収			
	✓ 工程改善・コスト削減により営業利益増加			
中国	売上高	: 1,490百万	前期比	84%
	セグメント利益	: ▲46百万	前期比	141百万増益
	✓ 環境規制の厳格化により大幅な減収となったが、深圳工場のクローズが早期決着した為、固定費を削減し大幅に営業利益改善			
ASEAN	売上高	: 633百万	前期比	84%
	セグメント利益	: ▲65百万	前期比	△59百万減収
	✓ 競合他社との競争激化により減収・減益			

※1 売上高はセグメント間の内部売上又は振替高を含めておりません。

※2 日本セグメントにはトムズ・クリエイティブを含みます。

# FY2019決算概況

## 個別



- ✓ 個別においてはパネル事業を中心に増収
- ✓ コスト削減により営業利益増加

02

# 今後の事業展開

# 今後の事業展開\_事業環境

パネル事業	今後の見通し	
スマートフォン		高付加価値製品の伸長
車 載		今後の成長分野だが、厳しい製品品質基準
教 育		デジタル化による新たな市場の創出
産業・医療		新たな成長分野

シール・ラベル事業	今後の見通し	
A V		国内の売り上げ規模は横ばい
O A		ペーパーレス化により減少傾向
F A		穏やかながらも成長分野
自 動 車		コロナウイルス拡大により不透明
医 療		高齢化による需要増
衛生・食料品		新しい生活様式により増加
ノベルティ		イベント等中止により減少

## パネル

- ▶スマートフォン市場は製品ライフサイクルが短いため、中長期の受注が見込める自動車市場、産業機器、医療機器、および教育機器への営業を強化
- ▶案件毎に異なる高度な技術・技能が必要とされるため、対応できる人材の育成
- ▶安定した品質体制の強化

## シール ラベル

- ▶国内電気機器関連の縮小をカバーすべく、衛生・食料品関連・ノベルティ等の内需市場の営業強化
- ▶多品種少ロットに対応するためのデジタル印刷機活用
- ▶アセアン市場での拡販

株式会社トムズ・クリエイティブは、株式会社 GC ネクストのノベルティ部門を分社化後、三光産業株式会社の子会社として新たに設立された会社です。

## ー株式会社トムズ・クリエイティブー

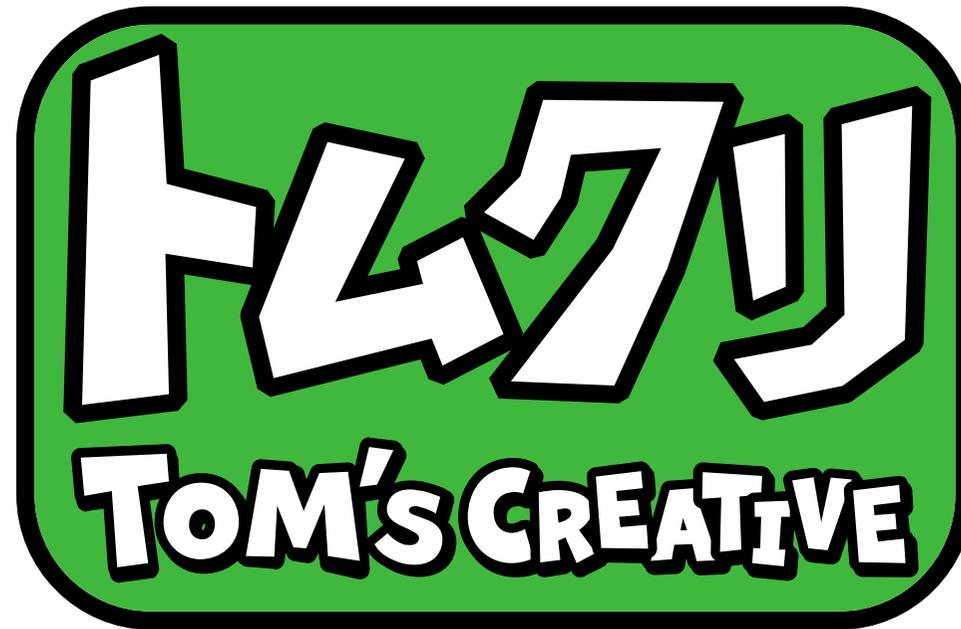
本社所在地：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-42-6

設 立：令和元年11月29日

資 本 金：4,500 万円

決 算 期：3月31日

従 業 員 数：9名 (2020 年 3 月末日現在)

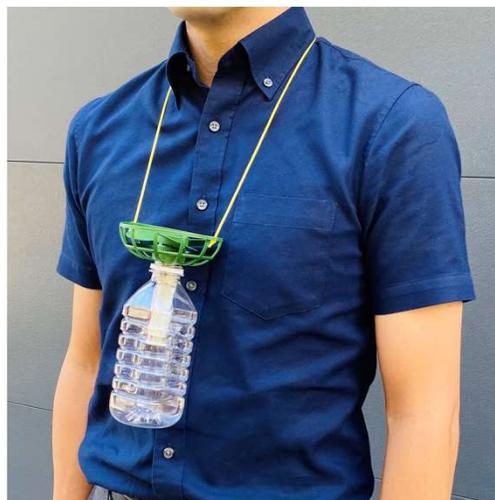


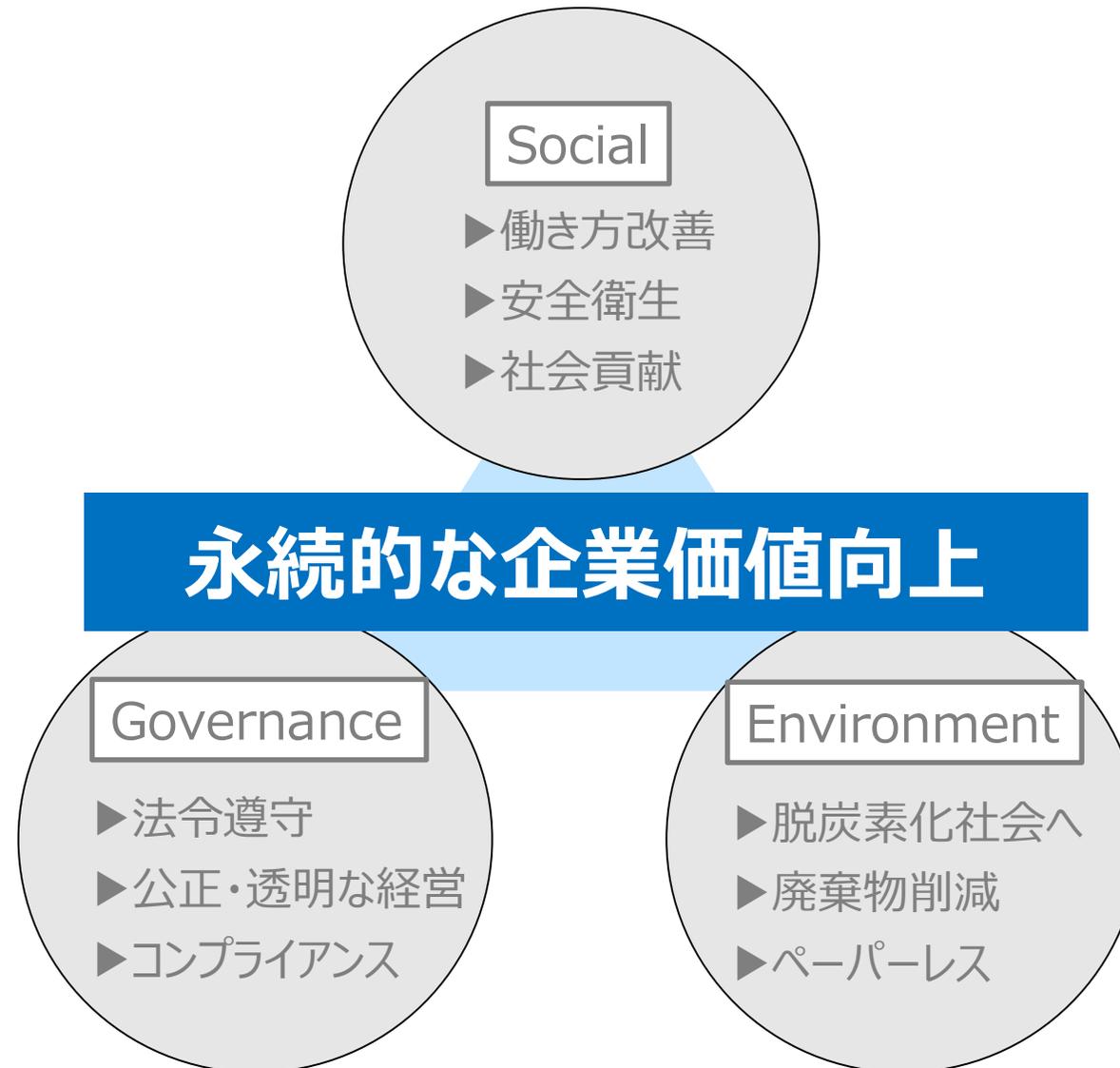
略称トムクリのトムは、トム・ソーヤが由来です。  
私たちはノベルティの開発と、それに伴うSPツールの企画制作  
を主体とした会社です。  
しかしそれだけにとどまらず、子供の頃感動した思い出を今で  
も持ち続け、あの単純で楽しかった遊具を進化させ現代に蘇  
らせます。

実績類似品



## 今期販売予定品





03

# 中期経営計画

2020年3月期～2022年3月期

2019年3月期の業績を踏まえ、2020年3月期を初年度とする  
2022年3月期まで「中期経営期計画」を策定しております。  
2020年3月期はその初年度になります。

## ▶数値目標と結果

	FY2019 計画	FY2019 結果	結果	達成率
売上高	11,000	10,624	X	97%
営業利益	▲30	▲24	○	120%

## ▶FY2019連結業績

- ・売上高は3%減少したが、営業利益は120%の達成であった。

### ・営業利益の目標達成の要因

1. 重要施策のひとつである深圳工場の操業停止および販売会社への移行を実施したことで拠点経費を大幅に削減
2. 販管費の削減

## ▶FY2020展望

- ・中期経営計画の2年目であり計画は当面継続といたしますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、得意先の工場稼働停止、弊社工場の工場稼働停止の状況が発生しておりますので、今後の見通しが合理的に算定が可能となった時点で、計画継続か再策定するかを検討予定です。

## 黒字体質への 転換

- 恒常的に利益を計上できる会社にする
- 中国地域の損失の影響を大きく受けたが、他の地域は黒字体質に向けて体制を整えている

## パネル事業の 業界内地位の 安定化

- 品質管理の徹底と技術革新の継続により、業界のサプライヤーとして確固たる地位を築く

## シール・ラベル事業の 収益性の改善

- 東京圏のシール・ラベル事業の収益性を改善する
- アセアン地区全体でグループ貢献利益を上げる

# 中期経営計画\_重要施策①

## パネル事業の 業界内地位の安定化

- 品質管理の徹底
- 適正見積の実施
- 継続した技術革新への対応と高度な技術力のある企業との連携強化

## シール・ラベル事業の 新たな柱の構築

- 電気機器業界以外への進出
- グループ内受注の拡大により工場稼働率を上げる
- 設備投資による生産性の向上

## 基幹システムの リプレイス 2021年4月に延期

- 旧システムを2020年9月までに刷新し、国内事業所の生産性の向上をはかる
- 計数管理報告の早期化および精緻化を実現し、経営インテリジェンスの向上をはかる

## アセアン地域の 業績の安定

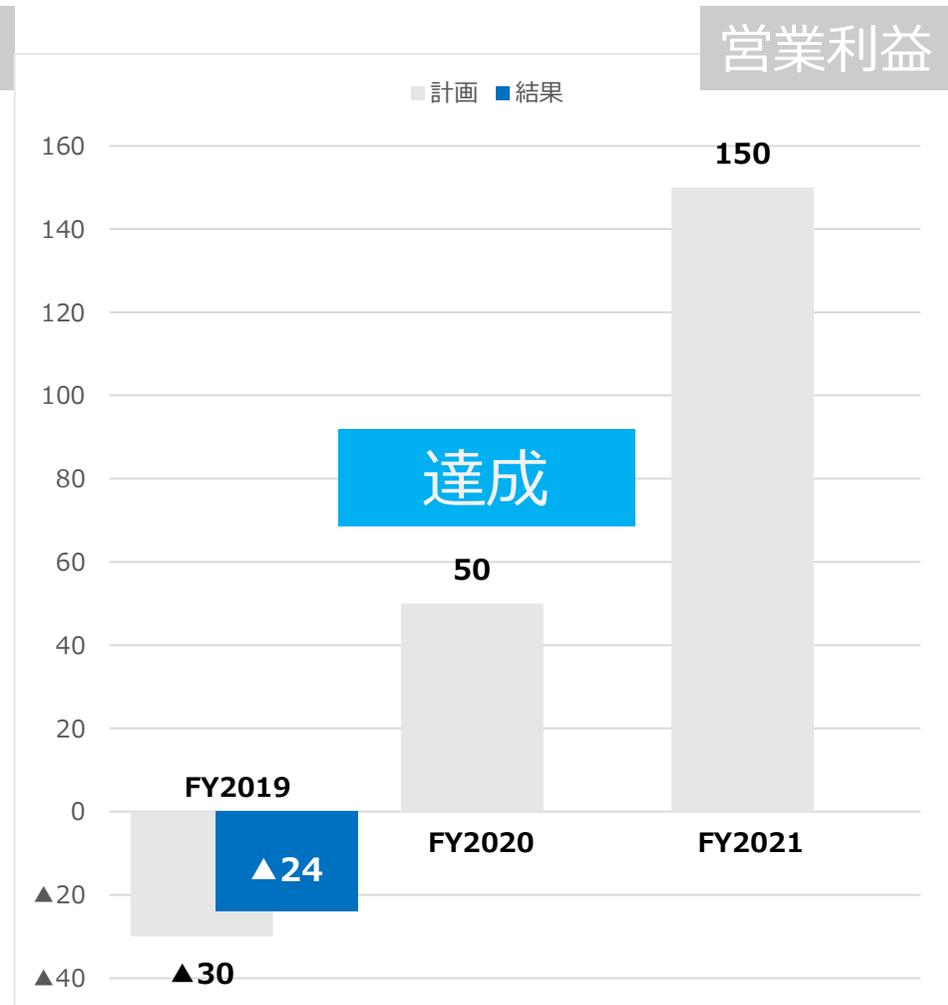
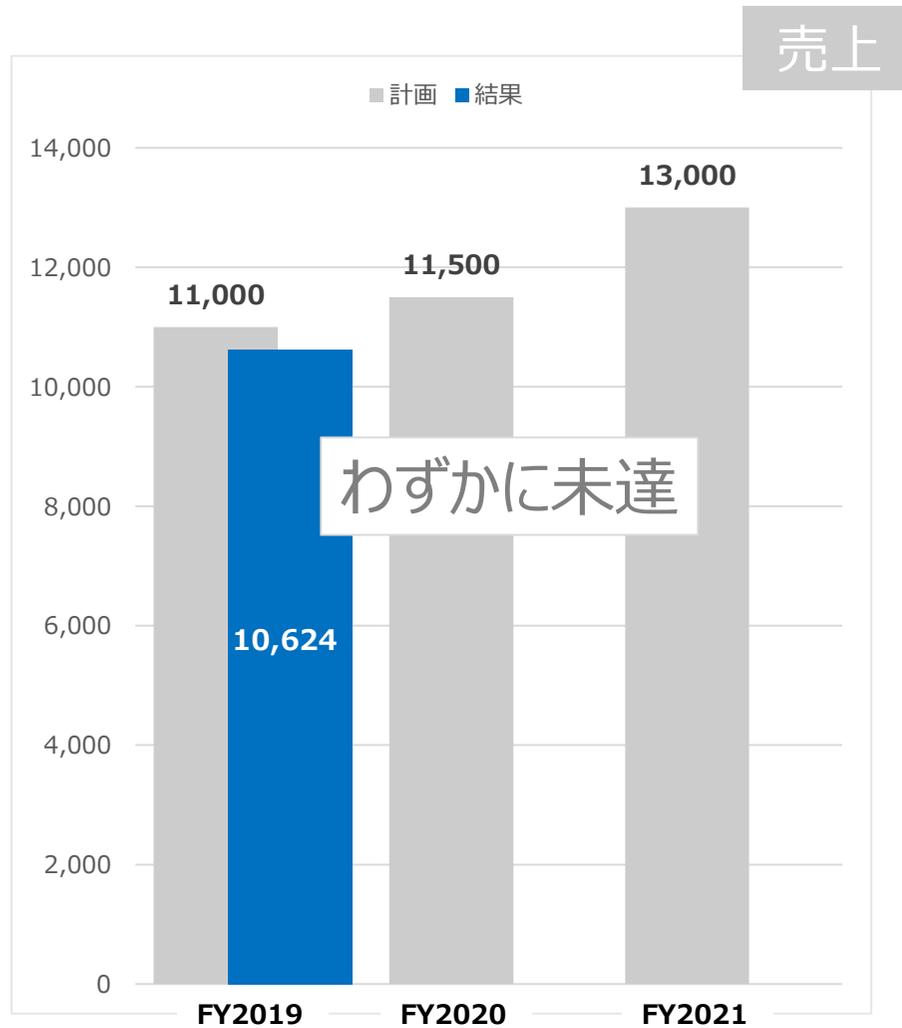
- マレーシア工場のオペレーション高度化のため、  
新システムを導入
- バンコク、ベトナム拠点の早期黒字化のため、  
営業活動の強化

## 中国セグメントの 再構築 2019年9月に完了

- 深圳工場の操業停止および販売会社への移行による  
中国セグメントの早期黒字化

# 中期経営計画\_連結

(単位:百万円)



# 中期経営計画\_セグメント別

(単位:百万円)

売上	FY2018 実績	FY2019 計画	FY2019 結果	FY2020 計画	FY2021 計画
日本	9,072	10,072	10,036	9,309	10,361
中国	2,678	1,172	2,827	1,742	2,272
ASEAN	757	894	643	2,570	4,233

営業利益	FY2018 実績	FY2019 計画	FY2019 結果	FY2020 計画	FY2021 計画
日本	▲5	131	69	29	58
中国	▲187	▲128	▲46	11	20
ASEAN	▲6	▲33	▲65	10	72

※1 売上高はセグメント間の内部売上又は振替高を含めておりません  
 ※2 日本セグメントにはトムズ・クリエイティブを含みます。

# 設備投資計画

(単位:百万円)

拠点	項目	FY2019 計画	FY2019 実績	FY2020 計画	FY2021 計画
本社	EDP	40	46	150	10
長野	生産能力増強	47	67	100	53
川越	設備更新他	10	2	20	20
大阪	生産能力増強/ 設備更新	20	32	20	10
中国	環境規制対応	-	0	-	-
マレーシア	設備更新他	17	2	67	66
タイ	生産能力増強	82	89	4	4
R&D	新規分野開拓	10	7	50	50
M&A	技術提携	100	301	100	100
	TTL	326	546	511	313

✓ M&A (+201) : 子会社トムズ・クリエイティブ取得・増資

## 配当について

財政状態、投資計画等を総合的に勘案して、安定配当を基本といたします。



2021年3月期の配当予想に関しましては、  
今後予想可能となった時点で、連結業績予想とあわせて開示いたします。

本資料に掲載されている三光産業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から三光産業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

## I R お問い合わせ

経営企画室 阿部 雅弘

T E L : 03-3403-8134

e-mail : m-abe@sankosangyo.co.jp

EOF